



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社

コード番号 4543 URL <http://www.terumo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 佐藤 慎次郎

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 大曲 昌夫 TEL 03-6742-8550

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|---------|------|--------|-----|--------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第1四半期 | 139,312 | 11.9 | 23,355 | 9.4 | 22,733 | 50.3 | 16,291 | 61.1 |
| 29年3月期第1四半期 | 124,519 | △3.2 | 21,356 | 9.8 | 15,123 | △26.6 | 10,110 | △30.3 |

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 21,659百万円 (ー%) 29年3月期第1四半期 △29,494百万円 (ー%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第1四半期 | 46.28 | 43.08 |
| 29年3月期第1四半期 | 27.86 | 25.99 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-----------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年3月期第1四半期 | 1,041,059 | 503,646 | 48.3 | 1,429.31 |
| 29年3月期 | 1,021,405 | 489,554 | 47.9 | 1,389.70 |

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 503,087百万円 29年3月期 489,145百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | ー | 20.00 | ー | 22.00 | 42.00 |
| 30年3月期 | ー | | | | |
| 30年3月期(予想) | | 22.00 | ー | 22.00 | 44.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|------|--------|------|--------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 276,000 | 12.6 | 39,000 | △0.9 | 37,500 | 22.5 | 25,000 | 22.4 | 71.03 |
| 通期 | 575,000 | 11.8 | 82,000 | 7.1 | 79,500 | 16.0 | 53,000 | △2.3 | 150.58 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

・年間想定レート：1ドル=110円、1ユーロ=120円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 30年3月期1Q | 379,760,520株 | 29年3月期 | 379,760,520株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年3月期1Q | 27,781,030株 | 29年3月期 | 27,781,520株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 30年3月期1Q | 351,979,083株 | 29年3月期1Q | 362,969,689株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (表示方法の変更) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年6月30日、以下「当第1四半期」)における医療市場では、先進国を中心に医療費抑制が進められる中、米国で無保険者の解消などを目的として導入された医療保険制度改革法の見直しに向けて議論が進められました。日本では、財源の重点的・効率的な配分を目的として、医薬品・医療機器の費用対効果評価の導入に向けた検討が行われました。

このような環境の下、当社グループでは、「日本発のグローバル企業」として、トータルクオリティ(製品・供給・サービスなどを含めたトータルな質)においてワールドクラスの信頼を獲得し、世界の医療現場からトップブランドとして信頼されるメーカーとなることを中長期ビジョンとして掲げ、経営を推進しております。

当第1四半期の業績は以下のとおりであります。

<売上高>

売上高は、前年同期比11.9%増の1,393億円となりました。

(単位:百万円)

| | 前第1四半期 連結累計期間 | 当第1四半期 連結累計期間 | 伸長率 (%) | 為替影響除く 伸長率(%) |
|----------------------|------------------|------------------|------------|------------------|
| 売上高 | 124,519 | 139,312 | 11.9 | 10.7 |
| 売上総利益 | 69,181 | 78,255 | 13.1 | 14.6 |
| 営業利益 | 21,356 | 23,355 | 9.4 | 17.0 |
| 経常利益 | 15,123 | 22,733 | 50.3 | — |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 10,110 | 16,291 | 61.1 | — |

(単位:百万円)

| 地域別売上高 | 前第1四半期 連結累計期間 | 当第1四半期 連結累計期間 | 伸長率 (%) | 為替影響除く 伸長率(%) |
|--------|------------------|------------------|------------|------------------|
| 日本 | 45,451 | 44,915 | △1.2 | △1.2 |
| 欧州 | 24,737 | 27,747 | 12.2 | 12.0 |
| 米州 | 32,917 | 41,130 | 25.0 | 21.4 |
| アジア他 | 21,413 | 25,519 | 19.2 | 18.0 |
| 海外計 | 79,068 | 94,397 | 19.4 | 17.5 |
| 合計 | 124,519 | 139,312 | 11.9 | 10.7 |

日本では、心臓血管カンパニーで、アクセスデバイスや2月に発売した超音波画像診断装置「VISICUBE」(ビジキューブ)及び血管内超音波カテーテル「AltaView」(アルタビュー)の販売が好調に推移し、増収となりました。ホスピタルカンパニーは、医療器の製品で代理店の在庫調整に加え、輸液ポンプ・シリンジポンプの買い控えの影響などもあり、減収となりました。その結果、日本全体では減収となりました。

海外では、心臓血管カンパニーで、止血デバイス事業など前期に買収した事業・製品の売上寄与もあり、TIS(カテーテル)、ニューロバスキュラー(脳血管)、CV、血管全ての事業で売上が伸長しました。さらに、血液システムカンパニーで血液センター向け及びアフレス治療分野の販売が堅調に推移した結果、増収となりました。

<売上総利益>

売上総利益は、売上の増加に加えて、ホスピタルカンパニー及び血液システムカンパニーにおける原価低減なども寄与し、前年同期比13.1%増の783億円となりました。

<営業利益>

営業利益は、販売費及び一般管理費の増加を売上総利益の増加により吸収し、前年同期比9.4%増の234億円となりました。

<経常利益>

経常利益は、営業利益の増加に加えて、前年同期の為替差損に対し当第1四半期は為替差益を計上したこともあり、前年同期比50.3%増の227億円となりました。

<親会社株主に帰属する四半期純利益>

親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増加に加えて税負担率の軽減もあり、前年同期比61.1%増の163億円となりました。

事業セグメント別の売上高の状況は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

| 事業セグメントの名称 | | 前第1四半期 連結累計期間 | 当第1四半期 連結累計期間 | 伸長率 (%) | 為替影響除く 伸長率 (%) |
|-------------|------|------------------|------------------|------------|-------------------|
| 心臓血管カンパニー | 売上高 | 63,699 | 79,057 | 24.1 | 22.4 |
| | (日本) | 12,789 | 13,491 | 5.5 | 5.5 |
| | (海外) | 50,910 | 65,566 | 28.8 | 26.7 |
| ホスピタルカンパニー | 売上高 | 38,383 | 36,867 | △3.9 | △4.3 |
| | (日本) | 30,113 | 28,947 | △3.9 | △3.9 |
| | (海外) | 8,269 | 7,919 | △4.2 | △5.6 |
| 血液システムカンパニー | 売上高 | 22,387 | 23,333 | 4.2 | 3.0 |
| | (日本) | 2,499 | 2,422 | △3.1 | △3.1 |
| | (海外) | 19,888 | 20,911 | 5.1 | 3.8 |

<心臓血管カンパニー>

日本では、TIS(カテーテル)事業で、アクセスデバイスや超音波画像診断装置「VISICUBE」及び血管内超音波カテーテル「AltaView」などの販売が堅調に推移し、増収となりました。

海外では、TIS事業で止血デバイスを含むアクセスデバイスの販売が好調に推移しました。また、ニューロバスキュラー(脳血管)、CV、血管の各事業も堅調に推移し、海外全体で大幅な増収となりました。

その結果、心臓血管カンパニーの売上高は前年同期比24.1%増の791億円となりました。

<ホスピタルカンパニー>

日本では、医療器の製品で代理店の在庫調整に加え、輸液ポンプ・シリンジポンプの買い控えの影響がありました。また、医薬品及びヘルスケア分野の製品で収益性改善を目的とした供給終了やアカウントの整理を行ったことに加え、アライアンス事業において当期は前期と異なり下期に受注を多く見込んでいることもあり、ホスピタルカンパニーの売上高は前年同期比3.9%減の369億円となりました。

<血液システムカンパニー>

中南米やアジアで血液センター向けの販売が堅調に推移しました。また、米州を中心にアフレス治療分野の売上も伸長しました。

その結果、血液システムカンパニーの売上高は前年同期比4.2%増の233億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ197億円増加して10,411億円となりました。

流動資産は現金及び預金の増加等により、234億円増加して3,726億円となりました。

固定資産は35億円減少して6,646億円となりました。有形固定資産は28億円増加、無形固定資産は68億円減少、投資その他の資産は6億円増加となりました。

(負債)

負債の部は56億円増加して5,374億円となりました。

流動負債は短期借入金の返済等により、1,340億円減少して1,144億円となりました。

固定負債は長期借入の実行等により、1,395億円増加して4,230億円となりました。

(純資産)

純資産の部は、141億円増加して5,036億円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.4ポイント増加し、48.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月10日に発表した第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想に変更はありません。医療機器・医薬品業界を取り巻く環境の変化や為替レートの動向など、事業環境は不透明な状況が続くことが予想されますが、当社グループは目標の達成に向けて、医療の質と効率の向上に貢献する高付加価値製品の開発及び販売拡大、継続的な原価改善、販売費及び一般管理費の効果的な運用などに注力してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 105,388 | 124,142 |
| 受取手形及び売掛金 | 109,508 | 109,762 |
| たな卸資産 | 106,712 | 111,891 |
| 繰延税金資産 | 17,501 | 16,179 |
| その他 | 11,503 | 12,009 |
| 貸倒引当金 | △1,430 | △1,383 |
| 流動資産合計 | 349,183 | 372,601 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 63,310 | 64,097 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 53,359 | 53,415 |
| 土地 | 22,471 | 22,474 |
| リース資産（純額） | 1,780 | 1,727 |
| 建設仮勘定 | 30,445 | 32,357 |
| その他（純額） | 11,754 | 11,814 |
| 有形固定資産合計 | 183,122 | 185,887 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 217,334 | 213,855 |
| 顧客関連資産 | 85,338 | 83,679 |
| 技術資産 | 105,581 | 103,696 |
| その他 | 46,463 | 46,639 |
| 無形固定資産合計 | 454,717 | 447,870 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 12,463 | 12,486 |
| 繰延税金資産 | 6,727 | 6,753 |
| 退職給付に係る資産 | 757 | 895 |
| その他 | 10,263 | 10,672 |
| 投資その他の資産合計 | 30,212 | 30,807 |
| 固定資産合計 | 668,052 | 664,566 |
| 繰延資産 | | |
| 繰延資産合計 | 4,169 | 3,891 |
| 資産合計 | 1,021,405 | 1,041,059 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 38,451 | 37,727 |
| 短期借入金 | 120,000 | — |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 7,853 | 7,840 |
| リース債務 | 231 | 190 |
| 未払法人税等 | 9,688 | 6,816 |
| 繰延税金負債 | 23 | 48 |
| 賞与引当金 | 6,317 | 2,988 |
| 役員賞与引当金 | 190 | 47 |
| 設備関係支払手形及び未払金 | 7,059 | 7,552 |
| 資産除去債務 | 72 | — |
| その他 | 58,502 | 51,214 |
| 流動負債合計 | 248,389 | 114,426 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 30,000 | 50,000 |
| 転換社債型新株予約権付社債 | 100,135 | 100,122 |
| 長期借入金 | 80,578 | 200,418 |
| リース債務 | 230 | 217 |
| 繰延税金負債 | 47,501 | 47,136 |
| 役員退職慰労引当金 | 14 | 3 |
| 退職給付に係る負債 | 6,803 | 6,966 |
| 資産除去債務 | 84 | 85 |
| その他 | 18,113 | 18,035 |
| 固定負債合計 | 283,462 | 422,986 |
| 負債合計 | 531,851 | 537,412 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 38,716 | 38,716 |
| 資本剰余金 | 50,928 | 50,928 |
| 利益剰余金 | 459,261 | 467,807 |
| 自己株式 | △108,225 | △108,224 |
| 株主資本合計 | 440,680 | 449,228 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,706 | 1,916 |
| 繰延ヘッジ損益 | △560 | △31 |
| 為替換算調整勘定 | 56,257 | 60,441 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △8,938 | △8,467 |
| その他の包括利益累計額合計 | 48,464 | 53,859 |
| 新株予約権 | 307 | 348 |
| 非支配株主持分 | 101 | 210 |
| 純資産合計 | 489,554 | 503,646 |
| 負債純資産合計 | 1,021,405 | 1,041,059 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 124,519 | 139,312 |
| 売上原価 | 55,338 | 61,057 |
| 売上総利益 | 69,181 | 78,255 |
| 販売費及び一般管理費 | 47,824 | 54,900 |
| 営業利益 | 21,356 | 23,355 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 117 | 113 |
| 受取配当金 | 150 | 61 |
| 受取ロイヤリティー | 52 | 30 |
| 為替差益 | — | 206 |
| その他 | 113 | 328 |
| 営業外収益合計 | 433 | 739 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 295 | 290 |
| 売上割引 | 115 | 110 |
| 為替差損 | 5,484 | — |
| 持分法による投資損失 | 246 | 181 |
| たな卸資産処分損 | 3 | 1 |
| 開業費償却 | 277 | 277 |
| その他 | 242 | 498 |
| 営業外費用合計 | 6,666 | 1,361 |
| 経常利益 | 15,123 | 22,733 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1 | 0 |
| 補助金収入 | — | 154 |
| 債務勘定整理益 | — | 555 |
| 特別利益合計 | 1 | 710 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 45 | 8 |
| 特別損失合計 | 45 | 8 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 15,079 | 23,435 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,020 | 6,411 |
| 法人税等調整額 | 1,972 | 758 |
| 法人税等合計 | 4,992 | 7,170 |
| 四半期純利益 | 10,086 | 16,265 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △24 | △25 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 10,110 | 16,291 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 10,086 | 16,265 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △2,969 | 210 |
| 繰延ヘッジ損益 | △29 | 529 |
| 為替換算調整勘定 | △37,447 | 4,183 |
| 退職給付に係る調整額 | 872 | 471 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △6 | △0 |
| その他の包括利益合計 | △39,580 | 5,394 |
| 四半期包括利益 | △29,494 | 21,659 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △29,464 | 21,686 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △29 | △26 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

従来、一部の生産子会社では、間接部門の人件費等の諸費用を販売費及び一般管理費として表示しておりましたが、前連結会計年度より売上原価として表示する方法に変更しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、販売費及び一般管理費に表示していた545百万円を売上原価に組替えております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-------------------------|---------------|----------------|-----------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | 心臓血管 カンパニー | ホスピタル カンパニー | 血液システム カンパニー | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 63,699 | 38,383 | 22,387 | 124,470 | 49 | 124,519 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 63,699 | 38,383 | 22,387 | 124,470 | 49 | 124,519 |
| のれん等償却除くセグ メント利益 | 19,510 | 5,224 | 2,700 | 27,436 | △1,528 | 25,907 |
| セグメント利益 | 19,084 | 5,224 | △1,424 | 22,884 | △1,528 | 21,356 |
| のれん等償却除くセグ メント利益率(%) | 30.6 | 13.6 | 12.1 | 22.0 | — | 20.8 |

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 外部顧客への売上高の調整額49百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入であります。
- (2) セグメント利益の調整額△1,528百万円には、たな卸資産の調整額492百万円、その他△2,021百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-------------------------|---------------|----------------|-----------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | 心臓血管 カンパニー | ホスピタル カンパニー | 血液システム カンパニー | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 79,057 | 36,867 | 23,333 | 139,258 | 53 | 139,312 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 79,057 | 36,867 | 23,333 | 139,258 | 53 | 139,312 |
| のれん等償却除くセグ メント利益 | 20,586 | 5,704 | 3,522 | 29,812 | 806 | 30,619 |
| セグメント利益 | 17,551 | 5,704 | △706 | 22,549 | 806 | 23,355 |
| のれん等償却除くセグ メント利益率(%) | 26.0 | 15.5 | 15.1 | 21.4 | — | 22.0 |

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 外部顧客への売上高の調整額53百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入であります。
- (2) セグメント利益の調整額806百万円には、たな卸資産の調整額166百万円、その他640百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。